

ChatGPT を含む生成 AI に対する基本方針（学生向け）

○ここ最近、ChatGPT を代表とする生成 AI が注目を集めています。生成 AI を活用することによるメリットはありますが、一方でデメリットもあることも指摘されています。よって大学での生成 AI の使用については、メリットとデメリットを十分に理解していることが大前提となります。

○メリットとしては、大学での学びをより効果的に進めていくうえで、有意義なツールとなる可能性があるということを挙げることができます。例えば ChatGPT は、ネット上の情報を生成して文章で回答することができるので、これを適切に活用することで、自らの考えを検証したり、物事の理解を深めたりするようになることなどが期待されます。また単語を入力する Google や Yahoo などの検索エンジンに比べて、文章を入力することで、より多角的かつ網羅的な情報を入手できる可能性が広がるのです。その一方、大学における教育は、すなわち学問を通じた人間としての成長機会の提供です。それゆえ単純にインターネットや AI 等を利用して知識や回答を得ること以上に、その過程としての、「問題の発見と設定」「仮説の構築・検証や思索」、そして「自らの手による実地調査・文献調査」等が、自身の研鑽と成長にとって大きな意味を持つのです。

○生成 AI のデメリットとして、まず生成 AI に依存し過ぎることが思考の幅を狭め、自ら考えることを阻害する危険のあることを自覚してください。過度の依存は、学びによる自身の成長を止めてしまうことにもなりかねません。また、授業におけるレポート作成などの課題に取り組む際に、生成 AI を安易に用いることは、課題を通じた学びの機会の逸失につながります。加えて、剽窃（他人の文章を許可なく無断で自分のものとして使用すること）などの不正行為に該当すると見なされる場合もあります。生成 AI による文章などの生成物は、自らの活動成果を代替するものではないと認識すべきでしょう。生成 AI による生成物（回答）には、誤りなどが含まれていることもあります。したがって、その内容を自ら確認・検証することが不可欠です。さらに、セキュリティ上の課題もあり、個人情報への漏洩や著作権の侵害などを引き起こす危険があることにも留意しなければなりません。

○よって学生の皆さんにおかれては、生成 AI におけるメリット、デメリットがあることを十分に認識し、適切かつ慎重に使用するようになしてください。また、各科目での生成 AI への対応は各科目担当者に委ねていますので、科目担当者の指示に従ってください。

○現在、日本のみならず世界中で生成 AI の取り扱いについて議論が重ねられています。本学においても議論を注視しながら、必要に応じて生成 AI に対する基本方針を改定する予定です。